

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		選挙管理委員会運営				整理番号	929		枝番号	1	
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000		連絡先電話番号	3803		昨年度整理番号	72
係名						上位施策名		No			
予算事業名		選挙管理委員会運営		コード	08000		政治意識の高揚と政治参加の促進		73		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		22年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第181条～第194条						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例						
	選挙管理委員会、選挙管理委員会連合会		(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		選挙管理委員の活動に対し報酬及び費用弁償を支給することにより、職務遂行を補償する。		活動指標名(式)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		区の執行機関として明るく公正な選挙の管理・執行を行う。投票環境の整備と向上を図る。		成果指標名(式)							
				(1) 定例会開催数							
				(2) 費用弁償支給延人数							
				(1) 予算の執行率							
				(2)							
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	回	40	43	45	38	45				
	活動指標(2)	人	218	218	225	203	225				
	成果指標(1)	%	98.32	95.23	100	95.36	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	14,908	14,464	15,091	14,392	16,223	特記事項			
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)	人	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	25,808	25,364	25,991	25,292	27,123				
	単位あたりコスト ÷	円	645,200	589,860	577,578	665,579	602,733				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	25,808	25,364	25,991	25,292	27,123				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成10年6月より選挙人名簿の定時登録回数が年1回から4回となり、平成11年度からは在外選挙人名簿調製事務が開始され、平成12年の衆議院議員選挙では初めての在外選挙が行われた。平成10年参議院議員選挙から不在者投票投票事由の緩和・手続きの簡略化、投票時間の延長がなされた。さらに現在、重度障害者に代筆投票による郵便投票が行えるようにする(改正案)など選挙人の便宜及び投票環境の向上を図る法改正が進められている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	84.4	活動指標(2)の14年度達成率%	90.2	14年度予算執行率%	95.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	この事業費の97%は選挙管理委員の活動に対する報酬・費用弁償のため、執行率は高い。残りの3%は区政調査研究費であり、執行については精査している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 選挙管理委員会は公正な選挙を行うための執行機関であり、委員会の適正な運営は必要不可欠である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由: 選挙管理委員会の設置は法定事項であるため。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由: 公正な選挙の管理・執行の実現は、法令に基づき行われるものであり、成果を向上させる性質のものではない。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 選挙管理委員会運営において受益負担は存在しない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 自治法により議会で選出された4人の選挙管理委員会委員をもって組織され、3人以上の委員が出席しなければ会議を開くことができないなど、合議体の機関であるから。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 委員の報酬・費用弁償等、必要経費は固定的である。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		選挙管理委員会事務局一般管理(庶務事務)				整理番号	929	枝番号	2	
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先電話番号	3803	昨年度整理番号	73	
係名		上位施策名						No		
予算事業名		選挙管理委員会運営		コード	08000	政治意識の高揚と政治参加の促進			73	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		22 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 公職選挙法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区選挙管理委員会処務規程					
	選挙人名簿登録者、選挙管理委員、選挙管理委員会連合会、選挙管理委員会事務局職員		(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)							
在外選挙人名簿調製等、法令に基づく事務を適正に行う。選挙管理を行うための必要な情報、連絡を充実させる。				(1) 職員数						
				(2) 在外選挙人名簿登録者処理件数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)								
公正な選挙及び関係法令に基づく適正な選挙事務の管理・執行				(1) 予算の執行率						
				(2) 在外選挙人名簿登録事務委託金収入率(対予算)						
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	15	15	15	15	15			
	活動指標(2)	件	442	321	400	202	350			
	成果指標(1)	%	90.87	68.37	100	76.29	100			
	成果指標(2)	%	44.67	81.78	100	58.37	100			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,393	1,031	1,358	1,037	1,430	特記事項 その他特定財源:在外選挙人名簿登録事務委託金		
	(内)委託費	千円	63	63	63	63	63			
	職員数(正規 非常勤)	人	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00	1.80 0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	16,349	16,349	16,349	16,349			16,349
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	17,742	17,380	17,707	17,386	17,779			
	単位あたりコスト ÷	円	1,182,800	1,158,667	1,180,467	1,159,067	1,185,267			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	17,742	17,380	17,707	17,386	17,779			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	選挙人名簿登録事務は平成10年6月より年1回から年4回の登録となった。さらに、平成11年度からは在外選挙人名簿調製事務が開始され、在外公館等への事務連絡により事務量が增大した。しかし、当初の在外選挙人名簿登録事務処理件数は760件であったが、ここ数年の登録者数は約1,200名と横這いの状態が続いている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測	在外選挙人の投票機会の拡大を図るため、在外選挙人制度の見直しが行われ、今後、登録者の増も予想される。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	50.5	14年度予算執行率%	76.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	在外選挙人名簿の登録は本人の申請によるため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 選挙管理委員会の事務を行うため必要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由: 法的事務のため区が行う。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由: 公正な選挙の管理・執行の実現は、法令に基づくものであり、成果を向上させる性質のものではない。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 選挙人名簿登録等、法律上当然に行う事務であり、受益者負担を考える余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 対象者が法令に基づくものであるため。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 本事業は公正な選挙を実現するために選挙管理委員会事務局として必要な一般管理事務を行っているものであり、大幅なコスト削減の余地はない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	選挙管理委員会事務局として必要な一般管理事務のため				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		明るい選挙推進協議会等活動費				整理番号	930		枝番号			
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000		連絡先電話番号	3805		昨年度整理番号	74	
係名						上位施策名		No				
予算事業名		選挙常時啓発		コード	8200		政治意識の高揚と政治参加の促進		73			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		32 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 公職選挙法第6条、第261条の2 (2) 公職選挙法施行令第133条～第137条 (3)							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	区内在住の有権者が中心であるが、推進活動は区民すべてが対象である。											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		選挙犯罪など、ゆがんだ選挙を排し、選挙が公明かつ適正に行われ、区民の意識が政治に正しく反映されるよう話しあい活動をする。		活動指標名(式) (1) 話しあいの会 (2) 話しあいの会参加延べ人数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		明るい選挙の推進と政治意識の高揚を図り、投票への参加を促す。		成果指標名(式) (1) 明るい選挙推進委員の活動延回数 (2)								
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績			16年度			
指標	活動指標(1)		回	178	159	300	150	300	300	50.0		
	活動指標(2)		名	4,354	3,976	5,000	3,149	5,000	5,000	63.0		
	成果指標(1)		回	505	362	850	514	850	850	60.5		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,066	1,139	1,653	1,129	1,222	特記事項 成果指標(1)の13年度は、推進委員の任期が2年のため地区別懇談会・新任研修は実施せず。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70	0.70	0.47	0.47	0.47				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,358	6,358	4,269	4,269	4,269			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	7,424	7,497	5,922	5,398	5,491				
	単位あたりコスト ÷		円	41,708	47,151	19,740	35,987	18,303				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	7,424	7,497	5,922	5,398	5,491					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		・当初は区民の生活と政治及び選挙のかかわりや仕組み等、明るい選挙の理解を深め実現していくことであったが、現在では、政治や選挙に対する意識の高揚を中心とし、特に若年層の投票率の向上に力を入れ活動している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測		・近年の低投票率の背景には、若年層の選挙への無関心さなどが指摘されるが、今後この状況は続くと思われる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	50.0	活動指標(2)の14年度達成率%	63.0	14年度予算執行率%	68.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	明るい選挙推進活動の指標として、話しあいの会の開催回数を上げているが、推進活動はそれだけではなく、報告書では見えない部分がある。しかし、120名の推進委員の中には平成14年度中、1度も話しあいの会を持たない委員が3分の1もあり、開催に際しての助言が必要とされている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 区民の意思が政治に反映され、住み良いまちづくりへとつながっていく。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 明るい選挙を推進していくうえで、区と明るい選挙推進協議会とが一体となって活動していくものである。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 推進活動はボランティアであり、受益者負担は無い。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 杉並区在住者の有権者を対象とする事業であるため、現状のまま、区民に広く推進活動をおこなう。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 事業を執行する上で、必要最小限の予算となっている。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 推進委員の活動(主に話しあいの会)がさらに活発になると、投票参加の推進が期待できる。今までの推進委員の選出方法は、再任と公募を除き、旧出張所地区を単位とし、旧出張所長を経由して地元町会長に推薦を依頼し推進委員を選出してきた。結果として、60・70歳代がほとんどで、若年層への推進活動を考えると、今後、徐々に推進委員の若返りを図ることが好ましいと思われる。また、やる気のある推進委員を選任していく必要がある。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 出張所の廃止に伴い、今後、推進委員の選出方法を検討していく。現在の推進委員は町会活動等により多くの区民の信頼を得ており、話しあいの会も町会の定例会を利用した活動が多い。選出方法の変更により、推進委員活動が衰退することのないよう、活動を支援していく必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 若年層の政治意識の高揚を図り、投票への参加を促す。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		「選挙だより」等の発行					整理番号	931		枝番号				
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000		連絡先電話番号	3805		昨年度整理番号	75			
係名				上位施策名						No				
予算事業名				選挙常時啓発		コード	8200		政治意識の高揚と政治参加の促進			73		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		51 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 公職選挙法第6条							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	おもに区内在住の一般有権者						(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)									
内容：区内一般有権者向け選挙情報機関紙「杉並の選挙だより」の発行～配布方法～区施設や区内駅広報スタンドを使用し配布、「明るい選挙推進委員」による配布				(1) 発行部数										
				(2) 発行回数										
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)										
・選挙執行期日等の周知 ・公職選挙法改正点の周知 ・選挙は、有権者が政治に参加し、主権者として意思を政治に反映させることができる基本的かつ最大の機会であるということを再認識してもらう。				(1) 配布部数										
				(2)										
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%					
				計画	実績		16年度	年度						
指標	活動指標(1)	部	20,000	19,000	20,000	18,000	18,000	18,000	100.0					
	活動指標(2)	回	2	2	2	2	2	2	100.0					
	成果指標(1)	部	59	47	20,000	17,420	18,000	18,000	96.8					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	794	807	813	635	708	特記事項 成果指標の12年度は衆議院選挙(小選挙区選出)、13年度は東京都議会議員選挙の投票率とする。投票率は政治情勢等により大幅に推移する。14年度より成果指標名を「配布部数」に変更。						
	(内)委託費	千円												
	職員数(正規 非常勤)	人	1.00	1.00	0.96	0.96	0.96							
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,083	9,083	8,720	8,720				8,720			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				0			
	総事業費 ++	千円	9,877	9,890	9,533	9,355	9,428							
	単位あたりコスト ÷	円	494	521	477	520	524							
	財源	受益者負担分	千円											
		国・都等からの支出金	千円											
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0				0			
差引:一般財源 -		千円	9,877	9,890	9,533	9,355	9,428							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	当初は明るい選挙推進委員の情報機関紙として500部が創刊されたが、政治への無関心層の増大・投票率低下という時代の流れにともない、段階的に増加した(明るい選挙推進委員機関紙は「すぎなみ推進委員だより」として年2回発行)。現在では年間で18,000部の発行部数となり、一般有権者向けの情報機関紙であるとともに選挙啓発PRちらしという性格もあわせもったものに変化してきた。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	他事業で「話しあい活動」という明るい選挙推進委員が中心となって選挙について話しあうものが、年間を通して行われているが、その際の参考資料として必要なものであるという声が多い。												
	今後の予測	政治への無関心、低投票率の状態は依然として続くと思われる。殊に、昨今では情報収集手段が多様化しており、これに対応した情報の提供が必要であると思われる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	90.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	78.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	東京都知事選挙・杉並区議会議員選挙及び杉並区長選挙実施前に発行した「選挙だより(選挙特集号)」23,000部は、選挙事務費から執行したため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	第98号から区公式ホームページ・区政資料に掲載。第100号からA4版の大きさに変更し、情報量を増大。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 政治への無関心・投票率の低下等選挙に関わる問題を解決するための1つの方法である。また統一地方選挙世論調査(平成11年度版)によると、印象に残った投票の呼びかけとしては、「街頭宣伝カー」「広報すぎなみ」「駅頭での呼びかけ」について「選挙だより」(19.6%)を占めている。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 国と都も様々な形で、選挙情報の提供を行っているが、選挙人をとりまく環境や投票場所等の情報は自治体によって異なる部分が多いため、各区市町村毎に方針をたてて発行したほうが、有効性がある。
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由: 改正案に記載
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 広域的、一般有権者向け啓発紙であるため、受益者負担はない。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 公職選挙法第6条で、対象を選挙人としている。
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 改革案に記載

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・個人が情報を取捨選択していく現代において、一つでも多くの方法により、情報提供することは、当選挙管理委員会の責務である。本紙は発行部数が18,000部と限られているため当区のホームページに本紙をそのまま掲載し、より多くのインターネットユーザー(有権者)も閲覧可能となるようにする。(13年度より) ・選挙特集号(23,000部)は選挙事務費より執行する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 インターネットによるので対象者が不特定多数となり、前もっての正確な活動量の数値が把握できない。ホームページ上にアクセス数実績値を把握することで、ある程度の活動量の推定算出は可能になる。

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		明るい選挙啓発ポスターコンクール				整理番号	932		枝番号			
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先電話番号	3805		昨年度整理番号	76		
係名						上位施策名			No			
予算事業名		選挙常時啓発		コード	8200	政治意識の高揚と政治参加の促進			73			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		23 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 公職選挙法第6条							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
			区内在住・在学の児童・生徒(小・中学校・高等学校の生徒)		(3)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		東京都が主催する同事業の実施時期とあわせ、対象者から応募のあった作品を審査し、賞状・記念品などを授与する。また、応募者の多数あった学校にも、学校協力校として、感謝状を授与する。				活動指標名(式)					
						(1) 募集数						
						(2)						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		・対象者に早期から選挙・政治に興味を深めてもらい、次世代に向けての選挙・政治意識の高揚を狙う。・対象者の保護者等に選挙は政治に参加する最大かつ基本的な機会であることを再認識してもらう。				成果指標名(式)						
						(1) 応募学校数						
						(2) 応募作品数						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
					計画	実績		16 年度				
指標	活動指標(1)		点	287	276	600	613	630	670	91.5		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		校	13	15	30	22	30	30	73.3		
	成果指標(2)					300	293	300	300	97.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	219	256	217	245	119	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.29	0.29	0.29				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,725	2,725	2,634	2,634	2,634				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	2,944	2,981	2,851	2,879	2,753				
	単位あたりコスト ÷		円	10,258	10,801	4,752	4,697	4,370				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,944	2,981	2,851	2,879	2,753					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		・塾通い児童の増加、少子化等により年々応募者数は減少している。また、現在の応募者の中心は学校の夏休みの課題として提出される割合が圧倒的である。(応募作品点数:H元・602点 H14年・293点)									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測		・応募者数は多少の変化があるものの、ほぼ横ばいで推移していくと思われる。今後とも学校の夏休みの課題として提出されるのが多数であろう。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	102.2	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	112.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	少子化による児童・生徒数の減少や他課の類似事業との競合により、ポスターコンクールの応募作品点数は減少している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	全校用の募集通知分を一部変更。広報すぎなみ6/1号、また区公式ホームページ/イベント情報・キッズホームページ/イベント情報に募集案内を掲載。区役所および区の文化・学習施設、コミュニティー施設に募集ポスターを掲示。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 本事業は直接有権者を対象とするものではなく、子供を媒体として保護者である有権者に効果を狙うのと同時に、早期から子供達に選挙・政治の重要性を認識してもらい、次世代の有権者への選挙啓発という中長期的な性質を持つものであり、短期的客観的データで施策への貢献度を検証することは困難である。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 総務省・東京都選挙管理委員会等との共催の事業であるが、区独自で優秀作品は選挙啓発資材に掲載したりする。また、数回に分けて展示会を催すなどして活用し、本事業不参加の児童や有権者にも選挙の啓発が行えるので、区も行う必要がある。
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 選挙・政治の意識の高揚を図ることが目的であるため、受益者負担は無い。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 本事業は杉並区内の小・中学生・高校生を対象とするものであり、対象の縮小・拡大は本事業の目的からはずれ、妥当でない。
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 現段階では、応募者に対しての記念品購入費を削減するしかない。しかし、記念品による応募者の作品に対する評価は、児童・生徒の創作意欲を向上させるものであり、記念品購入費の削減は活動量の減少と、成果の低下を招くことになりかねない。

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・昨年度に引き続き、不参加校を対象にした募集用依頼文を作成・配布するとともに、区立小・中学校長会等でも夏休み前に再依頼する。 ・13年度から区の公式ホームページ/イベント情報・キッズホームページ/イベント情報に募集案内を掲載する。・区の文化・学習施設、コミュニティー施設にも募集ポスターを掲示する。・「選挙だより」や明るい選挙推進委員の機関紙「推進だより」に募集案内を掲載する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	従来配布していた募集用依頼文を変更するだけであり、新たな経費の増減はない。

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		新成人等啓発				整理番号	933		枝番号	
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先電話番号	3805		昨年度整理番号	77
係名						上位施策名			No	
予算事業名		選挙常時啓発		コード	8200	政治意識の高揚と政治参加の促進			73	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		21 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 公職選挙法第6条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)					
			・満20歳の誕生日をむかえる区内在住の新成人 ・区立中学3年生		(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		・投票立会人の募集を兼ねた選挙啓発パンフレット(パスデーカード)を、20歳の誕生日の週に到達するように発送する。 ・区立中学3年生の公・民の副読本を作成して、授業で活用する。		活動指標名(式)					
				(1) パスデーカード発送部数						
				(2)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		・政治意識の向上と選挙は、有権者が政治に参加し、主権者として意思を政治に反映することのできる最大かつ基本的な機会であることを再認識してもらう。		成果指標名(式)						
				(1) 20歳代投票率						
				(2) 新成人立会人応募数						
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
				計画	実績		16	年度		
指標	活動指標(1)	部	5,424	6,071	5,500	5,826	5,500	5,500	105.9	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	35	29	50		50	50	0.0	
	成果指標(2)	人	66	268	400	116	400	400	29.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,034	846	877	1,369	1,899	特記事項 成果指標(1) 13年度は、参議院(東京都選出)議員選挙の投票率とする。14年度は、選挙が執行されず。		
	(内)委託費	千円								
	職員数(正規 非常勤)	人	0.50	0.50	0.48	0.48	0.48			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,542	4,542	4,360	4,360			4,360
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	5,576	5,388	5,237	5,729	6,259			
	単位あたりコスト ÷	円	1,028	887	952	983	1,138			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,576	5,388	5,237	5,729	6,259			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	・時代とともに政治への無関心が拡大し、投票率は低下傾向にある。・12年度から「成人祝賀のつどい」では事業を行わず、啓発パンフレット「パスデーカード」(投票立会人希望申込返信葉書)を誕生日の週に発行し、有権者としての意識向上を呼びかけている。・14年度から区立中学3年生用副読本を作成し配布している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測	・20代の投票率については、他の年代に比べ低く推移すると思われる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	105.9	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	156.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	パスデーカード発行部数は20歳有権者数とほぼ同数になる。20歳代投票率は依然として平均を下回る傾向にある。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	20歳を迎えた誕生日の週に投票立会人募集を兼ねた啓発パンフレット「パスデーカード」を送付している。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由:新たに選挙権を得る機会に本事業をおこない、有権者として選挙制度についての最低限の知識の理解、確認をしてもらう選挙啓発の時期としては非常に有効であり、また、当委員会の責務でもある。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:本事業は杉並区在住の新成人を対象を限定して行われる事業であり、はじめての有権者として選挙制度についての最低限の知識の再確認、杉並区での投票の案内(不在者投票場所の説明)をする内容のパンフレットを送付している。
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:立会人の募集については、翌年の予定を返信(回答)するため、予定がたたない等の理由が考えられる。
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:選挙の意識の高揚を図ることが目的であるため、受益者負担はない。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:杉並区在住者の新成人を対象とする事業であるため、対象を変更するのは適切でない。
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:コスト削減を考慮した結果、平成12年6月から事業方法を見直した結果である。

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・「成人祝賀のつどい」の開催については、選挙管理委員会が共催するかどうかも含めその係り方を検討する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・「成人祝賀のつどい」の選挙管理委員会の係り方については、区長部局及び杉並区教育委員会と検討する必要があるが、当該つどいは、20歳を迎え選挙権を有する説明を行うことは最大の機会であることも考慮する必要がある。区のHPにパスデーカードの内容を掲載し、立会人を募集するという方法もあるが、新成人が全てアクセスするわけではない。郵送で誕生日前後に自宅に「パスデーカード」が送付されれば、目を通してもらえるのではないかと期待がある。

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電子投票調査・研究			整理番号	934		枝番号	
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000		連絡先電話番号	3802	
係名					上位施策名			No	
予算事業名		選挙常時啓発		コード	8200		政治意識の高揚と政治参加の促進		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		14 年度		根拠法令等		
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 公職選挙法 (2) 地方公共団体の議会の議員及び長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う投票方法等の特例に関する法律 (3)		
	区民、電子投票関係資料								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		電磁記録投票法が成立し、条例を制定すれば地方選挙で電子投票が出来ることになった。しかし、導入に関しては様々な課題がある。区民に正しい電子投票の情報を提供する。電子投票に関する情報を収集し調査研究を進める。		活動指標名(式)		(1) 電子投票体験会 (2)			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		区民に電子投票に関する正しい認識を得てもらう。電子投票に関する情報を収集整理する。		成果指標名(式)		(1) 電子投票体験者数 (2)			
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
				計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)	回			2	2	1		
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	人			600	592	600		
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円			796	196	596	特記事項	
	(内)委託費	千円							
	職員数(正規 非常勤)	人			0.20	0.20	0.20		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,817	1,817		1,817
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	0	0	2,613	2,013	2,413		
	単位あたりコスト ÷	円			1,306,500	1,006,500	2,413,000		
	財源	受益者負担分	千円			0	0		0
		国・都等からの支出金	千円			0	0		0
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	2,613	2,013	2,413		
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	地方公共団体の議会の議員及び長の選挙について、条例により電磁的記録式投票機を用いた投票を行うことができるよう公職選挙法の特例を定める「地方公共団体の議会の議員及び長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う投票方法等の特例に関する法律」が成立し、平成13年12月7日に公布、平成14年2月1日から施行された。平成15年7月現在、全国5つの自治体で電子投票が行なわれた。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	操作が簡単、早い等といった感想とコストや機器等について検討が必要とするなどの意見があった。							
	今後の予測	電子投票導入に関する要望が高まることと予測される。しかし、電子投票が行なわれている自治体は、小規模な場所が多く、平成15年7月20日岐阜県可児市で初めて10万規模の自治体での電子投票が行なわれたが、多くの課題が明らかになった。都市部における電子投票に関しては、今後更に課題の検討が進められることが予想される。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	24.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 電子投票は自書式と比べ、選挙人の意思をより正確に反映することができる。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 資料収集のための意識調査のため
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他)	理由:

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 体験会以外の方法での意識調査、先進都市への視察等、調査方法を工夫して多角的な検討資料の収集を行なう。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 専門的な知識や技術が必要である。電子投票の実施は人口10万以下の市や町が多く、杉並区と比較すると規模が小さい。都、他区等関係機関と連絡を密に取り、相互に情報収集に努める。

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	岐阜県可児市議会議員選挙において様々な問題が明らかになってきた。電子投票に関する情報収集をさらに進める必要がある。

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地方選挙			整理番号	935		枝番号				
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000		連絡先電話番号	3802	昨年度整理番号			
係名				上位施策名				No				
予算事業名				地方選挙		コード	8300		政治意識の高揚と政治参加の促進		73	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		22年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 公職選挙法 (2) 東京都及び杉並区選挙執行規程 (3) 地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		選挙人、候補者、不在者投票場所、投票所					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				東京都知事及び杉並区長・杉並区議会議員の任期満了に伴う選挙の準備及び執行							
	活動指標名(式)				(1) 投票所 (2) 選挙人							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				平成15年4月13日東京都知事選挙及び平成15年4月27日杉並区議会議員・杉並区長選挙が公明かつ適正に行なわれるよう、法令に従い準備を行なう								
成果指標名(式)				(1) 選挙の執行準備をした投票所 (2) 選挙のお知らせ発送世帯数								
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		所			65	65	65				
	活動指標(2)		人			441,000	434,361	434,000				
	成果指標(1)		所			65	65	65				
	成果指標(2)		通			270,000	268,020	270,000				
総事業費・コスト把握	事業費		千円			173,700	38,461	277,651	特記事項 選挙の執行は15年度のため、14年度は選挙執行準備についての評価となる。			
	(内)委託費		千円			32,513	6,105	25,200				
	職員数(正規 非常勤)		人			5.68	5.68	2.63				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	51,591	51,591				23,888
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	0	0	225,291	90,052	301,539				
	単位あたりコスト ÷		円			3,466,015	1,385,415	4,639,062				
	財源	受益者負担分		千円			0	0				0
		国・都等からの支出金		千円			33,070	62,227				111,110
		特定財源計 +		千円	0	0	33,070	62,227				111,110
差引:一般財源 -		千円	0	0	192,221	27,825	190,429					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		公職選挙法の改正等により不在者投票事由の緩和・手続きの簡略化、投票時間の延長、スロープの設置など、選挙人の便宜及び投票環境の向上が図られている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		投票環境の向上および投票率の向上に関する要望があった。また候補者の選挙運動に対する意見、要望があった。									
	今後の予測		公職選挙法の改正により、選挙事務の内容等を変更する必要がある									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	98.5	14年度予算執行率%	22.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 地方選挙は地方自治における区民の政治参加の最たる手段である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 法律で定められているため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 法律で定められているため。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他)	理由: 事務の見直しを図り、効率化を進める。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 選挙事務の効率化を行なうと共に投票環境の向上を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 選挙事務の見直しを行なっても公職選挙法の改正により、更に変更の必要が出てくる。(不在者投票場所の事務の効率化を進めていたが、期日前投票制度に関する法律の改正が行なわれ不在者投票自体の見直しが必要となった。)常に情報収集に努め、柔軟な対応を行なう。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	地方選挙は4年に1度のため				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		農業委員会委員選挙				整理番号	937		枝番号	
所属部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先電話番号	3805		昨年度整理番号	
係名		上位施策名						No		
予算事業名		農業委員会委員選挙		コード	9600		政治意識の高揚と政治参加の促進		73	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 29 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 農業委員会等に関する法律					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 選挙人、候補者、投票所				(2)					
					(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 杉並区農業委員会委員の選挙による委員の任期満了に伴う選挙の準備及び執行				活動指標名(式)					
				(1) 投票所						
				(2) 選挙人						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 平成14年7月7日杉並区農業委員会委員選挙が公明かつ適正に行なわれるよう、法令に従い準備及び執行				成果指標名(式)						
				(1) 選挙の執行準備をした投票所						
				(2) 選挙のお知らせ発送数						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		所			1	0			
	活動指標(2)		人			302	0			
	成果指標(1)		所			1	0			
	成果指標(2)		枚			302	0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円			458	127		特記事項	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人			0.20	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	1,817	1,817		0
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	0	0	2,275	1,944	0		
	単位あたりコスト ÷		円			2,275,000				
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	2,275	1,944	0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		選挙人名簿登録者数が減少傾向にある(H元 = 490人、H5年 = 411人、H10年 = 367人、H15年 = 287人)							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		今後も選挙人名簿登録者数は、減少していくと思われる。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	0.0	活動指標(2)の14年度達成率%	0.0	14年度予算執行率%	27.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	無投票により、候補者全員を当選人と決定した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 農業委員会委員選挙は、農業委員会制度の根幹であり、農業・農民の公的な代表機関の基礎となるものである。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 法律で定められているため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 法律で定められているため。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)					
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 区内の農業及び農民の一般的利益を代表する機関である農業委員会の選挙による委員を選出する選挙であり、関係者の理解や関心を深め、明るい選挙に努める。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	農業委員会委員選挙は3年に1度のため				